

青推協だより

No. 76

回覧

発行日 令和5年11月
発行者 豊田市青少年健全育成推進協議会
豊田市西町3丁目60番地
豊田市こども・若者政策課内
Tel. (0565)34-6630

少年の主張愛知県大会

令和5年度少年の主張 愛知県大会が8月18日(金)に尾張旭市文化会館で開催され、豊田市からは井郷中学校3年阿部野乃花さんと浄水中学校3年能見真央さんの2名が選ばれ、出場しました。お二人とも豊田市の代表としてとても立派な発表をされました。

【これまでの経緯】

- ◆6月10日(土) 豊田市民文化会館小ホールにて豊田市中学生の主張発表大会を開催
優秀賞5名を推薦
- ◆6月30日(金) 西三河地区作文審査会にて愛知県大会代表を決定
- ◆8月18日(金) 尾張旭市文化会館ホールにて少年の主張 愛知県大会 開催
(発表者14名のうち豊田市から2名出場)
☆井郷中学校 阿部 野乃花さん 『小さな支援から』 奨励賞
☆浄水中学校 能見 真央さん 『本当の私たち』 奨励賞
※賞の内訳：最優秀賞(1名)、優秀賞(4名)、共感賞(1名)、奨励賞(全員)

第3回育成者研修会

8月17日(木)、豊田市福祉センターにて第3回育成者研修会を開催しました。今回は豊田市青少年育成アドバイザー会(アド会)の方へファシリテーターをお願いして、「ジュニアクラブ」、「子ども会」、「PTA等の組織」をテーマに、グループワークを開催しました。8グループに分かれて、各班アド会の方の進行で約40分間の話し合いの中、それぞれの意見を付箋に書き、模造紙に貼っていきました。小休憩をはさんで、各班の代表が前に出て、模造紙を元に出た意見を発表しました。3つのテーマとも現在の共働きが増えた家庭環境に負担がのしかかる問題で、世代ごとに感じ方が違い、いろいろな意見が出ました。アド会の稗田副会長は「今日の話し合いで答えや解決策が出るわけではないが、話し合うことで個人の意識が少しでも変わってくれたら嬉しい。」と話してくれました。グループワーク後は4つに分けた地区ごとの班別で分かれ、各班のリーダーを中心に地域のイベントに視察できるよう打ち合わせをして、今後の班別研修会の日程を決めました。



↑模造紙に付箋を貼って意見を出し合いました



←アド会 稗田副会長



↑各班での話し合い



←前に出て発表する育成員



各地区の青少年育成事業活動紹介

青推協では、各地区における青少年の育成事業を行っています。「話してつながろう 家族のわ」をスローガンに、青少年の健やかな成長とそれを支える地域社会づくりを促進します。

抜粋した3地区での取り組みの様子をご紹介します。

☆「ブックドライブ」「社会を明るくする運動」 逢妻地区

昨年はコロナ禍で思うようにイベントができない中、10月のふれあいまつりでコミュニティと共同して本のリサイクルを中学生ボランティアの協力のもと行いました。

令和5年7月1日に保護司会との共催で「社会を明るくする運動」の一環として小・中学生の意見発表大会を行いました。コロナ5類感染症移行後、初の対面で開催することができました。発表者の熱い思いが来場者にも伝わり、大きな拍手が起きました。

今後も「よすが号による愛のパトロール」、「二十歳のつどい」等の行事を経て、地域住民とのつながりを深めていきたいと思えます。



☆「梅の実の収穫」「社会を明るくする運動」「みんなでラジオ体操」 梅坪台地区

令和5年6月3日、浄水地区との共催事業で、地域で育てている梅の実を、中学生とともに約300kg収穫しました。それを地区の皆さんに買っていただき、梅坪台及び浄水中学校に寄付することができました。

6月24日には、梅坪台交流館において、豊田市保護司会との共催で「社会を明るくする運動」を実施しました。交流館の協賛を得て、出入口や館内にのぼり旗を立て、館内では来館者らに広報活動をしながら啓発品を配布し、充実した活動となりました。

また、7月22日から1週間、毎朝7時から交流館の駐車場を借用して、「みんなでやろうラジオ体操」を実施しました。のべ300名の子どもたちが元気に体操し、最終日には参加賞の配布、大人を的にした水鉄砲遊び、夜には花火大会を行いました。参加した親子から「いい思い出づくりになった。」と感想をいただき、大変喜んでもらえました。



☆「社明運動」「川の生きものさがし」「GOGO フェスティバル」 上郷地区

昨年よりコロナ対策をしながら、7月9日保護司会、青少年育成委員会共催で、「殊詐欺の現状と被害防止対策」の講演が行われ、多くの人に参加しました。

また7月29日には、小学生と保護者対象で矢作川「川の生きものさがし」が行われ、熱中症対策をしながら魚などを捕まえたり、泳いだり、普段できない事を親子で楽しく行いました。

10月1日には、「GOGO フェスティバル」が行われ、中学生ボランティアもスタッフとして協力して、射的、玉入れ、くじ引き、菓子のつかみ取りなどを行いました。他にも演芸、作品展、体験コーナーもあり、地域の方々も多く参加され、とても楽しそうな姿が見受けられました。

今後も「少年の主張発表」「門松作り」「二十歳のつどい」と無事開催できるように取り組みたいと思えます。



【訂正】推協だより No.75 に以下の誤った表記がありました。ここに訂正させていただきます。

(誤) 奨励賞 猿投中学校 光田 聡美 → (正) 奨励賞 猿投中学校 光田 聡実